

<分院麻酔科>

一般（教育）目標

手術麻酔に従事することで、呼吸・循環管理をはじめとした生命維持に対する知識と論理的思考力を養う。また、気道維持に関する手技を習得する

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

(ア) 病態の把握、術式の理解をした上で、最適な周術期管理を目指すよう心がける

(2) 診療法・手技

(ア) 周術期全般に配慮した麻醉計画の策定、および生命維持に関する確実な手技の習得

(3) 症状・病態への対応

(ア) 術前は、複数の合併症を総合的に評価し、さらに術式の理解を深めて最適な麻醉方法を計画する

(イ) 術中は、バイタルサインや必要に応じてモニターを追加し、得られたデータ変動の示唆する本質的な病態変化を理解し、最適な患者管理を目指す

学習方略（1）

分院手術室で麻酔業務を行う。

(1) 上級医の指導のもと、担当する症例の術前患者情報収集および回診をおこない、具体的な麻醉計画を立てる

(2) 上級医の指導のもと、手術麻酔を施行する

EV評価

PG-EPOCによる評価方法（研修医↔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC評価システムに入力すること